

演 題 名	S P F 農 場 に お け る 豚 丹 毒 に 関 す る 一 考 察		
発 表 者 氏 名	神 田 章 唐 澤 哲 哉	所 属	飯 田 家 畜 保 健 衛 生 所
<p>SPF農場における関節炎型豚丹毒の発生要因究明のため、SPF農場4戸由来の16菌株について、5項目の性状検査を行った。その結果、遺伝子的には、生ワクチン接種農場1戸(SA農場)の3株はワクチン株、残り13株は野外株で、うち5株は同一株だった。次にワクチン株による豚丹毒惹起の可能性を確認するため、SPF農場および生ワクチン接種のConventional農場計7戸から出荷された関節炎を呈していない肥育豚105頭について、関節液から菌分離を試みたが全頭陰性だった。以上のことから、SPF農場では豚丹毒の自然感染が一般的に存在すること、生ワクチンが関節炎型豚丹毒を引き起こすことが示唆された。そこで、SPF農場に対し、子豚等Secondary-SPF豚であっても、生ワクチン接種は行わず、主に繁殖豚への不活化ワクチン接種を基本とするプログラムを推奨した。SA農場ではプログラム変更以降、豚丹毒発生は認められていない。</p>			